

琵琶湖でのアオコの発生について（第 1 号）

令和 7 年 7 月 28（月）、県と市が実施するアオコの監視調査において、県琵琶湖保全再生課の職員が守山市赤野井地先で、今年初めてのアオコの発生を確認しました。県琵琶湖環境科学センターがプランクトンを同定・計数したところ、その結果は下記のとおりでした。

記

アオコの発生状況

発生場所	確認日時	規模	レベル	水温 (℃)	構成プランクトン (群体数/ml)
赤野井地先 (守山市赤野井町)	7 月 28 日 9 時 48 分	20m × 2 m	4	30.6	ミコキスティス属 880 アババ属 290,00

〈参考〉

レベル 4：水表面を膜状にうっすらとアオコが覆う。

レベル 5：水表面に厚くマット状にアオコが覆う。

レベル 6：アオコが腐敗し、浮き滓状になって湖面を覆い、腐敗臭を発する。



赤野井地先で確認されたアオコ

アオコは、昭和 58 年（1983 年）に琵琶湖で初めて発生が確認されて以来、昭和 59 年（1984 年）および平成 26 年（2014 年）を除いて毎年発生が確認されています。

今後のアオコ発生状況は原則として、県HP「琵琶湖の水質（速報）について」において情報提供していく予定です。（滋賀県HPトップページ→県民の方→環境・自然→琵琶湖→琵琶湖の水質（速報）について）

(<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/biwako/300014.html>)